

常新新聞

刊夕日一十月十

一部金五銭 廣五銭 休日大衆 福島縣石城郡平町長橋町三五
 一ヶ月廿五銭 廣一ヶ月一十銭 日刊 常新新聞社 電話六三〇番
 一ヶ月五銭 廣一ヶ月一十銭 日刊 常新新聞社 電話六三〇番

本社 同春地（電話六三〇番）
 印刷所 常新新聞社 電話六三〇番

衛生閑話

（一）

俗に「注射をすれば身体が弱る」と素人が十人寄れば十人異口同音に語りもし又然信じて居る者が世間に多いために治療の方針に手違を來す事がある、之は醫學の智識の欠乏からで誠に困つたものだ、折角身体や心臓に力をつけやうとして適當の注射を試みんとする際にそんなに注射を續けては身体が堪らない、又針をば甚だしく痛いものと心得て針針は誠に傷々しいから

と家族が中止を迫ることがある、又中には生前バタバタ苦惱して居る時には如何なる手當如何程高價な薬でもよいかから用えて下れ等と御醫者ならではと拜みます頼みますと實に此となしに尊敬し懺悔したい程信頼もさるゝが、いざ病人が不幸な轉歸でも取つたとしたら忽ち態度が豹變し感謝に満ちた前音が雲霧と化し彼んな酷い手當をしたとか注射を餘りやつた勢で身体が弱つて遂に逝つたのだと恨みがましい言葉と代るのを屢々耳にする、醫者としては職責上最善の療法をなすのみか醫者ならでは體驗し得ない病

全遠藤のパン

喫茶部開設

有聲座

平町紺屋町（縣社通り）

土曜デー 有聲座
 學生デー 有聲座

美味 評判 **イノチ食堂**
 オの部電話四六〇番

原齒科醫院

平町土橋通り電話三一三番

冬の學生服
 是非冬服もなかやで
 コレなら自信を持てお奨
 め出なる生地裁縫共に申
 分ない黒小倉服です
 小學生用（長ズボン付）
 1號七八歳用 1圓80錢
 2號八九歳用 2圓00錢
 3號九十二歳用 2圓20錢
 4號十一十二歳用 2圓40錢
 5號十二十三歳用 2圓60錢
 中學生用
 6號一三年生位 4圓20錢
 7號二三年生位 4圓40錢
 8號三四年生位 4圓60錢
 9號四五年生位 4圓80錢
 各學校制定ボタンは15錢高
 中學外套も十月中旬より
 賣出します
 なかや洋服店
 平二丁目電二〇三

松茸フライ

絶佳 一の井ノ

吉田屋呉服店

電話 壹貳壹番

詳細ハ店内並ニ婦女界婦人世界十月號ニ發表シテ御座
 イマス

貸家案内

仲間町勤人向金五圓五十錢
 柳町全金拾圓
 舊城跡全金七圓
 全全金八圓
 白銀町全金八圓五十錢
 全商店向金貳拾圓
 全料理店向金八圓
 全旅館向金八圓
 五丁目勤人向金五圓

加藤營業所

白銀町（電話三三三番）

▼十一日替り▲
 マキノ金森萬象特作
 東京大阪朝日新聞所載小説
 澤田敬之助、松浦築枝、小
 金井勝共演
 時代劇 **松平長七郎**
 道中篇
 尾上松緑、市川米十郎、マ
 キノ登六、嵐徳太郎、マキ
 ノ潔、大林梅子助演
 大帝キネ連續好評責々篇
 當り狂言明石縁郎益々佳境
 糸の平内
幡隨院復讐篇
 人氣王嵐徳壽郎
 心血傾注超特作
 此村 **鬼神の血煙**
 大帝キネ現代派力作
 藤田林太郎、高津愛子主演
 正喜劇 **真心**
 全
 天下無敵學生ロマンス第
 一年生の巻
 連續 **大學生** 第二篇
 大活劇 **大學生** 第二篇
 ユニヴァサル映畫
 テョーデルイス主演

藤沼醫院

入院需應

平町紺屋町
 電話 國平五〇七番

頭痛に即効薬
 荒川のノーション
 特約店 **大平屋藥店**
 電話 六四二番

内科、小兒科、花柳病科

松茸新式御料理
 美味……大勉強
 音
 平町田町（電話二二六番）

七周年記念謝恩特賣

謹啓時下初秋の候貴家益々御多祥の段奉賀候
 陳者弊店儀開業以來茲に七周年平素格別の御聲援御引
 立に預り誠に難有御厚禮申上候就ては七周年を記念し
 謝恩の微意を以て來る十月三日より九月十七迄十五日
 間左記特價を定め御用命御待ち申上候間此際多少共御
 注文の程奉懇願候

素晴しい好評!!
 婦人世界選（圖案ハ全國一流ノ大家）
 壹萬五千圓大懸賞付（空クデナシ）
 足利近代調銘仙大賣出し
 婦女界推獎（名作カラ暗示ヲ得タ）
 大懸賞々品付空クデナシ
 八王子 **文藝銘仙大賣出し**
 特長 一、何レモ最高級ノ糸最高級
 ノ染料 生地ハシナヤカデ非常ニ丈夫デス
 一、藝術味溢レル柄行揃ヒニテ秋流行ノ先驅ヲナス逸
 品デス
 一、柄ガ良ク、巾ハ充分デ、丈ガ長ク、而シテ廉價ナ
 上ニ興味深ク大懸賞品付デス
 平町 鍛冶町
吉田屋呉服店
 電話 壹貳壹番

丸形 上々 新規七十錢
 弓張 全上 張替四十錢
 弓張 全上 新規六十五錢
 弓張 全上 張替三十五錢
 弓張 全上 新規六十錢
 弓張 全上 張替三十錢
 其他並物は五錢安

尚消防火防青年團等の數物は特に御相談可申候

スガノヤ提灯店

福島縣平町四丁目電話七一二番

哀話をこめて

平署に赤木綿一反

片倉製糸を手懸りに
恩人を捜して下さい

けふ縣廳から平警察署宛に差出人秋田縣岩瀬郡下町二四番地松本シゲ(三)と認められた書状と共に赤木綿一反を回送し来たが、シゲの手紙によれば

同女は

今から一年前父母と共に三人暮らしをして居た家が貧しい爲め父は石城郡の炭礦に出稼ぎして來ると稱し家出した儘行方を晦ました、母子兩名は淋しく父の歸りを待つて居たが何時迄たつても歸宅しないので父の行方を探さう

乞食に

なつて平町まで來つた處父はずでに炭礦を去つて仙台へ赴いたと聞かされ仙台に行つて見たが尋ねる父は見當らず前途を悲觀して市内の某觀音堂に於て母子が首にひもをまき手拭を以つて目隠しをして自殺せんとした刹那一人の少女が現れ

自殺を

押し止め現金十五圓と衣類を恵み郷里に歸つて父の歸りを待つてよからうと諭され歸郷したがその内母は重なる苦勞にふとした風邪がもとで重い病床に着き臨終の際赤木綿一反を取出してこれを仙台で助けて呉れたお嬢さんにお禮として差上げてくれと

遺言し

て死んで行つた爲めシゲは直ちに家をとたみ名も知らぬ助けの神のお嬢さんを尋ねる爲め八幡様参りの姿となり各地を探し廻つたがその行方が判らないのでお役人様の力でどうぞ恩人を探し出し前記の赤木綿を届けて戴きたい

二升樽位な

大蛇が現る

物凄い音を立て、

田人山中に

石城郡川部村大字小川の山奥に炭焼きを爲して居る數人の女が田人村大平方面に於て去る八日作業中の處天氣清朗にして風なきに宛ら大風の吹き來るが如きゴウゴウと云ふ音が四方に聞こえるので何氣なく其方を見ると二升樽位の太さで長さ二丈餘もあるかと思はれる大蛇が現れたので大いに驚き其儘逃げ歸つたが由來同地方は大蛇の棲む地として傳説に富める蛇塚さへある事として土地の青年達はこの機會に大々の大蛇狩をやる

救ひの

神が母娘に恵んだ衣類の袂に「石城郡平町片倉製糸場佐藤トメ子」と書いた紙片があつたと

警銀の復活確實

白井氏の私財提供確定
來月初旬開業か

極力整理開業に努めて居た警城銀行は白井領取の十萬圓私財提供確定した爲め來る十七日午前九時から
同行樓上 に株主總會を開き愈々來月初旬開業の運びに至る筈であるが是れが爲め本日午前九時から同行に大株主及び大口預金者を招き白井専務及び草野支配人交々起つて大藏省から認可された單獨開業案の内容を説明し承認を求むる處あり多少の質疑應答あつたが是れを

刑事會議

本日平署に
本縣通より各警察署の刑事會議は本日午前八時から平署に開會、本縣刑事課菊地警部補列席した

大差がない

平特別戸數割
平町では本年度下半年特別戸數割の附加額を決定するためそれ、吏員が各戸別に調査をなしてゐるが近く大體調査を終るので來る廿五日頃町會を招集し附加額を決定することになつたが大體前期の率と大差な

タツタ一名

平町の陪審員



家庭欄

フランス料理

クロケット、ドモリウ、材料は鱈十斤、馬鈴薯大三ツ、パン八分の一斤、

と珍らしい話ではあるまいか

荒井平署長の眼疾悪しく

落合病院に入院
荒井平署長は固疾の眼病で療養中の處思はしくない爲め本日午前五時廿分平署で出發埼玉縣落合眼科病院に入院した

兎の耳

鉛を金に
鉛より黄金を製出する方法の發見を材料としてその資金を數名より集めたといふ行爲を詐欺としその廉で檢舉し當地官憲の手で拘留中であつたレフンツ、タンセンドの事件につき彼は飽まで鉛を黄金に還元するの秘法を發見したる旨を主張し居り且ドイツ造幣局でもこれが事實であることを證言したレフンツは現に鉛を黄金に還元することに成功したといひなほ造幣局は嚴重にこの方法を監督したのであるから欺かれる筈なしと被告に有利な證言を興へた更に辯護人もタンセンドの實驗によりその發明の事實なるを證明したと述べ彼の釋放を要求してゐる

卵黄二ツ、鹽大匙輕々一ツ胡椒少々、パン粉大サジ三ツ
これは鱈のコロケ料理です、鱈は薄鹽ならその皮と骨とを取り去つてゆで一度摺鉢ですつて田麩の様にポロ／＼にします(生鱈ならば鹽茹して)一方では馬鈴薯をゆで裏漉したものとは

舞踊を見せて

教化の一助に

廿日聚樂館に開く
教化總動員講演會

本縣教育會石城郡會、石城郡聯合青年團、同聯合女子青年團の聯合主催にて廿日午後一時より聚樂館に於て教化總動員講演會と舞踊を催す由にて講師は高知尾誠吉氏また舞踊は左記の如くである、因に入場は無料

國の華、齒籜、在郷軍人孝友和信、稚郎子、君民一致

長橋青年清遊 平町長橋町青年分團にては本十

第三方面青年 役員を改選

會長曾我氏に

石城郡聯合青年團第三方面會は昨日午後一時より平第一小學校に於て評議員會を開き會則の改正委員の改選

其他の協賛あつたが新役員としては會長曾我直治氏、副會長渡邊清氏と決定した

警城炭礦が 六十人職首

平署萬一を警戒

石城郡警城炭礦では採炭期を目前に控へて老朽従業員を淘汰並に不良坑夫の一掃をはかる目的から去月二十日二十人を職首したのを手始めに最近までに合計六十人の職首を断行したが目下

のところ従業員側に於て不穩の形勢はないが同炭礦坑夫五千餘名を背景とする坑夫組合もあるので縣特高課

貨物移動 交通と

平小線敷設
前提に調査

鐵道省建設局計畫課山田技師は八日夜ひそかに來平し平、本、小名濱間におけ

四倉繭市場 (十日)

買數三百六十貫百匁、最高七圓廿錢、最低五圓十錢、平均六圓五十四錢

明日の豫報
北西の風強く朝降雨多少有夕方次第に悪なる